

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限（2004年6月11日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ジャパン・ソブリン・オープンマザーファンド受益証券
	マザーファンド	わが国の国債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 日本国債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。 ラダー型運用を活用し、安定した収益の確保を目指します。 	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ジャパン・ソブリン・オープン



第185期（決算日：2019年12月20日）
 第186期（決算日：2020年1月20日）
 第187期（決算日：2020年2月20日）
 第188期（決算日：2020年3月23日）
 第189期（決算日：2020年4月20日）
 第190期（決算日：2020年5月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ジャパン・ソブリン・オープン」は、去る5月20日に第190期の決算を行いましたので、法令に基づいて第185期～第190期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額	
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰				中落
	円		円		%	%	%	百万円	
161期(2017年12月20日)	9,652		12		△0.1	254.57	△0.1	99.3	25,420
162期(2018年1月22日)	9,625		12		△0.2	254.21	△0.1	99.3	24,868
163期(2018年2月20日)	9,619		12		0.1	254.39	0.1	99.1	24,305
164期(2018年3月20日)	9,620		12		0.1	254.76	0.1	99.3	23,841
165期(2018年4月20日)	9,592		12		△0.2	254.38	△0.1	99.2	23,292
166期(2018年5月21日)	9,581		12		0.0	254.45	0.0	99.1	23,330
167期(2018年6月20日)	9,577		12		0.1	254.67	0.1	99.2	22,982
168期(2018年7月20日)	9,565		12		0.0	254.73	0.0	99.2	22,594
169期(2018年8月20日)	9,534		12		△0.2	254.25	△0.2	99.2	22,218
170期(2018年9月20日)	9,508		12		△0.1	253.93	△0.1	99.2	22,009
171期(2018年10月22日)	9,492		12		△0.0	253.84	△0.0	99.2	21,480
172期(2018年11月20日)	9,502		12		0.2	254.49	0.3	99.2	21,248
173期(2018年12月20日)	9,520		12		0.3	255.33	0.3	99.2	20,976
174期(2019年1月21日)	9,515		12		0.1	255.53	0.1	99.1	21,167
175期(2019年2月20日)	9,516		12		0.1	255.91	0.1	98.9	20,993
176期(2019年3月20日)	9,498		12		△0.1	255.79	△0.0	99.2	21,013
177期(2019年4月22日)	9,478		12		△0.1	255.58	△0.1	99.1	21,351
178期(2019年5月20日)	9,474		7		0.0	255.67	0.0	99.0	21,203
179期(2019年6月20日)	9,516		7		0.5	256.99	0.5	99.1	21,154
180期(2019年7月22日)	9,493		7		△0.2	256.60	△0.2	99.0	20,973
181期(2019年8月20日)	9,536		7		0.5	257.95	0.5	99.2	20,997
182期(2019年9月20日)	9,522		7		△0.1	257.83	△0.0	99.2	20,755
183期(2019年10月21日)	9,481		7		△0.4	256.93	△0.4	99.3	20,521
184期(2019年11月20日)	9,451		7		△0.2	256.31	△0.2	99.2	20,185
185期(2019年12月20日)	9,379		7		△0.7	254.57	△0.7	99.3	19,863
186期(2020年1月20日)	9,377		7		0.1	254.71	0.1	99.3	19,691
187期(2020年2月20日)	9,393		7		0.2	255.35	0.3	99.1	19,442
188期(2020年3月23日)	9,345		7		△0.4	254.29	△0.4	99.1	18,632
189期(2020年4月20日)	9,358		7		0.2	254.83	0.2	99.3	19,236
190期(2020年5月20日)	9,356		7		0.1	254.97	0.1	99.2	19,100

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 10年とは、野村證券株式会社が発表している期間10年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		(参 考 指 数) NOMURA-BPI/Ladder10年		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第185期	(期 首) 2019年11月20日	円 9,451	% —	256.31	% —	% 99.2	% —
	11月末	9,437	△0.1	255.94	△0.1	99.1	—
	(期 末) 2019年12月20日	9,386	△0.7	254.57	△0.7	99.3	—
第186期	(期 首) 2019年12月20日	9,379	—	254.57	—	99.3	—
	12月末	9,396	0.2	255.04	0.2	99.2	—
	(期 末) 2020年1月20日	9,384	0.1	254.71	0.1	99.3	—
第187期	(期 首) 2020年1月20日	9,377	—	254.71	—	99.3	—
	1月末	9,409	0.3	255.61	0.4	99.2	—
	(期 末) 2020年2月20日	9,400	0.2	255.35	0.3	99.1	—
第188期	(期 首) 2020年2月20日	9,393	—	255.35	—	99.1	—
	2月末	9,448	0.6	256.89	0.6	99.2	—
	(期 末) 2020年3月23日	9,352	△0.4	254.29	△0.4	99.1	—
第189期	(期 首) 2020年3月23日	9,345	—	254.29	—	99.1	—
	3月末	9,371	0.3	255.01	0.3	99.1	—
	(期 末) 2020年4月20日	9,365	0.2	254.83	0.2	99.3	—
第190期	(期 首) 2020年4月20日	9,358	—	254.83	—	99.3	—
	4月末	9,383	0.3	255.52	0.3	99.3	—
	(期 末) 2020年5月20日	9,363	0.1	254.97	0.1	99.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

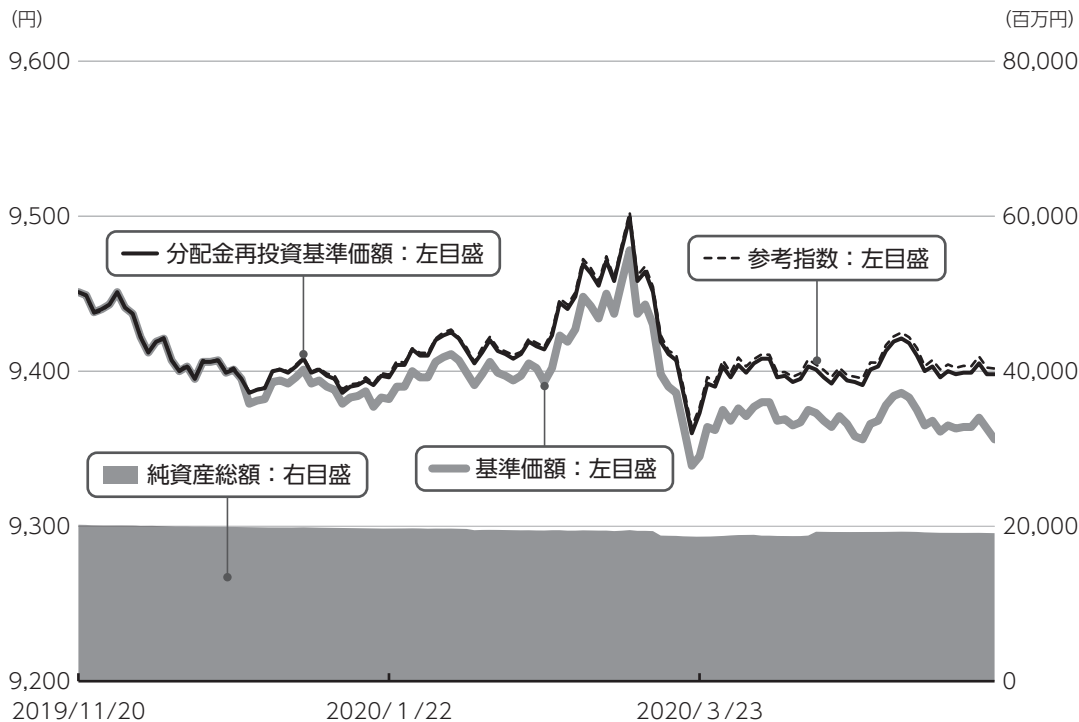
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第185期～第190期：2019年11月21日～2020年5月20日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第185期首	9,451円
第190期末	9,356円
既払分配金	42円
騰落率	-0.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第185期～第190期：2019年11月21日～2020年5月20日

投資環境について

▶ 国内債券市況

国内金利は上昇しました。

国内金利は、当作成期首から2019年12月下旬にかけては、日銀による追加緩和観測の後退などから上昇基調となりました。その後、2020年3月上旬にかけて米金利の低下などを背景に国内金利も低下

したものの、3月下旬にかけては新型コロナウイルス感染拡大に伴う金融市場の混乱を受けて保有資産の現金化の動きが進んだことなどから、国内金利は上昇しました。当作成期末にかけては、国内金利は横ばい圏で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ジャパン・ソブリン・オープン

ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を概ね99%以上に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

マザーファンドの当作成期末の組入比率は、99.7%としました。

▶ ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド

日本国債を高位に組み入れ、国債の残存期間ごとの投資額面金額がそれぞれ同額程度になるような運用（ラダー型運用）を目指しました。当作成期を通じて純資産総額に対する国債の組入比率をおおむね高位に維持し、当作成期末は99.5%となりました。ラダー型運用としては、残存10年程度までの国債に投資し、1年程度ごとで見た残存期間ごと（①残存約1年以内、②残存1～2年程度、③残存2

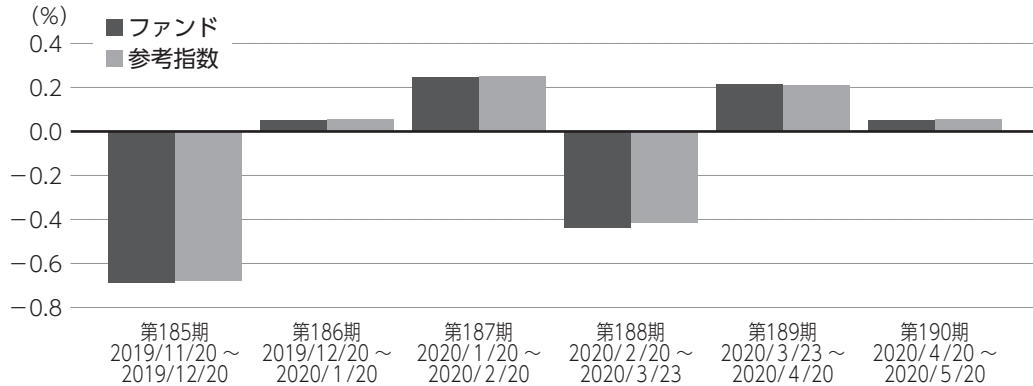
～3年程度、・・・、⑩残存9～10年程度の全10期間）の投資額面金額がおおむね等しくなるような運用を行いました。2019年12月と2020年3月に、組入国債の一部が償還を迎えたため、その償還資金を速やかに残存10年程度の国債に再投資しました。当作成期末における残存期間ごとの投資額面金額は24.3～26.5億円（投資額面金額の総額は257億円）となりました。デュレーション*は当作成期を通じて、5年程度となりました。

*デュレーションとは「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

第185期～第190期：2019/11/21～2020/5/20

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はNOMURA-BPI/Ladder10年です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第185期 2019年11月21日~ 2019年12月20日	第186期 2019年12月21日~ 2020年1月20日	第187期 2020年1月21日~ 2020年2月20日	第188期 2020年2月21日~ 2020年3月23日	第189期 2020年3月24日~ 2020年4月20日	第190期 2020年4月21日~ 2020年5月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	7 (0.075%)	7 (0.075%)	7 (0.074%)	7 (0.075%)	7 (0.075%)	7 (0.075%)
当期の収益	3	2	3	3	3	2
当期の収益以外	4	4	3	4	4	4
翌期繰越分配対象額	242	238	235	231	227	223

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ **ジャパン・ソブリン・オープン**
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

▶ **ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド**
引き続き、日本国債を主要投資対象とします。
運用に当たっては、組入比率を高位に保ちながら、残存期間ごと（最長10年程度）で見た投資額面金額が同額程度になるような運用（ラダー型運用）をめざします。

2019年11月21日～2020年5月20日

1 万口当たりの費用明細

項目	第185期～第190期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	8	0.085	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(2)	(0.024)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.045)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	8	0.086	

作成期中の平均基準価額は、9,394円です。

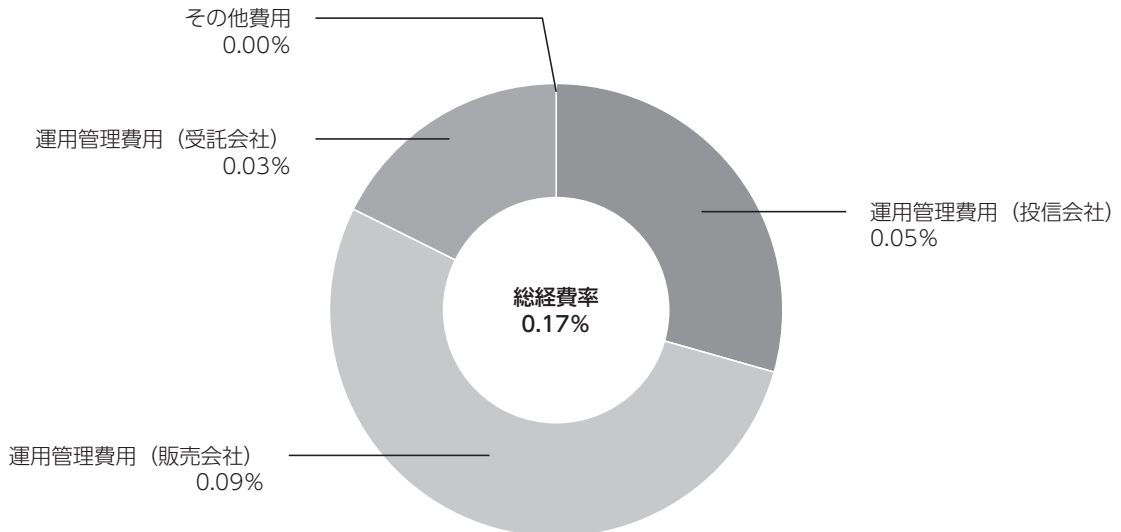
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.17%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年5月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第185期～第190期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 834,665	千円 1,010,878	千口 1,647,139	千円 1,997,452

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年5月20日)

利害関係人との取引状況

<ジャパン・ソブリン・オープン>

該当事項はございません。

<ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド>

区 分	第185期～第190期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,163	百万円 1,382	% 33.2	百万円 3,133	百万円 737	% 23.5

平均保有割合 72.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2020年5月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第184期末	第190期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 16,545,728	千口 15,733,254	千円 19,043,531

○投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	第190期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド	19,043,531	99.5
コール・ローン等、その他	93,178	0.5
投資信託財産総額	19,136,709	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末
	2019年12月20日現在	2020年1月20日現在	2020年2月20日現在	2020年3月23日現在	2020年4月20日現在	2020年5月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	19,896,257,647	19,774,265,133	19,520,678,426	18,692,695,769	19,260,245,254	19,136,709,165
コール・ローン等	80,648,113	97,573,019	107,167,971	106,448,913	77,871,707	82,731,238
ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	19,803,434,609	19,632,052,293	19,383,625,535	18,575,999,424	19,178,302,445	19,043,531,516
未収入金	12,174,925	44,639,821	29,884,920	10,247,432	4,071,102	10,446,411
(B) 負債	33,047,743	82,851,895	78,624,579	60,380,051	23,969,267	35,788,855
未払収益分配金	14,824,693	14,700,260	14,489,170	13,957,197	14,389,330	14,291,714
未払解約金	16,202,038	64,791,983	60,810,828	44,353,044	6,678,254	18,335,323
未払信託報酬	1,984,794	3,322,570	3,287,870	2,032,672	2,869,669	3,126,934
未払利息	143	173	190	189	138	147
その他未払費用	36,075	36,909	36,521	36,949	31,876	34,737
(C) 純資産総額(A-B)	19,863,209,904	19,691,413,238	19,442,053,847	18,632,315,718	19,236,275,987	19,100,920,310
元本	21,178,133,060	21,000,371,763	20,698,815,542	19,938,854,253	20,556,186,581	20,416,735,259
次期繰越損益金	△ 1,314,923,156	△ 1,308,958,525	△ 1,256,761,695	△ 1,306,538,535	△ 1,319,910,594	△ 1,315,814,949
(D) 受益権総口数	21,178,133,060口	21,000,371,763口	20,698,815,542口	19,938,854,253口	20,556,186,581口	20,416,735,259口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,379円	9,377円	9,393円	9,345円	9,358円	9,356円

○損益の状況

項 目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 4,070	△ 3,916	△ 3,953	△ 4,107	△ 3,455	△ 3,301
支払利息	△ 4,070	△ 3,916	△ 3,953	△ 4,107	△ 3,455	△ 3,301
(B) 有価証券売買損益	△ 135,878,444	12,903,541	50,898,925	△ 80,483,609	42,018,539	12,550,737
売買益	711,878	13,050,027	51,743,394	2,721,703	44,523,568	14,293,563
売買損	△ 136,590,322	△ 146,486	△ 844,469	△ 83,205,312	△ 2,505,029	△ 1,742,826
(C) 信託報酬等	△ 2,020,869	△ 3,359,479	△ 3,324,391	△ 2,069,621	△ 2,901,545	△ 3,161,671
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 137,903,383	9,540,146	47,570,581	△ 82,557,337	39,113,539	9,385,765
(E) 前期繰越損益金	△ 487,333,996	△ 624,306,617	△ 607,771,436	△ 543,407,553	△ 624,147,676	△ 586,300,918
(F) 追加信託差損益金	△ 674,861,084	△ 679,491,794	△ 682,071,670	△ 666,616,448	△ 720,487,127	△ 724,608,082
(配当等相当額)	(519,965,441)	(507,237,890)	(491,701,015)	(467,707,834)	(474,079,153)	(462,868,510)
(売買損益相当額)	(△1,194,866,525)	(△1,186,729,684)	(△1,173,772,685)	(△1,134,324,282)	(△1,194,566,280)	(△1,187,476,592)
(G) 計 (D + E + F)	△1,300,098,463	△1,294,258,265	△1,242,272,525	△1,292,581,338	△1,305,521,264	△1,301,523,235
(H) 収益分配金	△ 14,824,693	△ 14,700,260	△ 14,489,170	△ 13,957,197	△ 14,389,330	△ 14,291,714
次期繰越損益金 (G + H)	△1,314,923,156	△1,308,958,525	△1,256,761,695	△1,306,538,535	△1,319,910,594	△1,315,814,949
追加信託差損益金	△ 683,332,338	△ 687,891,943	△ 688,281,314	△ 674,591,989	△ 728,709,602	△ 732,774,776
(配当等相当額)	(511,525,421)	(498,850,844)	(485,523,594)	(459,774,556)	(466,027,237)	(454,706,773)
(売買損益相当額)	(△1,194,857,759)	(△1,186,742,787)	(△1,173,804,908)	(△1,134,366,545)	(△1,194,736,839)	(△1,187,481,549)
分配準備積立金	1,916,247	1,899,457	1,386,340	1,606,791	1,823,684	1,220,381
繰越損益金	△ 633,507,065	△ 622,966,039	△ 569,866,721	△ 633,553,337	△ 593,024,676	△ 584,260,554

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 21,357,016,072円
 作成期中追加設定元本額 1,421,759,670円
 作成期中一部解約元本額 2,362,040,483円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9356円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,315,814,949円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日
費用控除後の配当等収益額	6,640,431円	6,280,424円	7,795,127円	6,239,100円	6,390,375円	5,526,810円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	519,996,675円	507,250,993円	491,733,238円	467,750,097円	474,249,712円	462,873,467円
分配準備積立金額	1,629,255円	1,919,144円	1,870,739円	1,349,347円	1,600,164円	1,818,591円
当ファンドの分配対象収益額	528,266,361円	515,450,561円	501,399,104円	475,338,544円	482,240,251円	470,218,868円
1万円当たり収益分配対象額	249円	245円	242円	238円	234円	230円
1万円当たり分配金額	7円	7円	7円	7円	7円	7円
収益分配金金額	14,824,693円	14,700,260円	14,489,170円	13,957,197円	14,389,330円	14,291,714円

○分配金のお知らせ

	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
1 万口当たり分配金（税込み）	7円	7円	7円	7円	7円	7円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

▶▶▶ ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド ◀◀◀

《第185期》決算日2019年12月20日 《第188期》決算日2020年3月23日
 《第186期》決算日2020年1月20日 《第189期》決算日2020年4月20日
 《第187期》決算日2020年2月20日 《第190期》決算日2020年5月20日

[計算期間：2019年11月21日～2020年5月20日]

「ジャパン・ソブリン・オープン マザーファンド」は、5月20日に第190期の決算を行いました。
 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第185期～第190期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) NOMURA-BPI/Ladder10年		債券 組入比率	債券 先物比率	純資 産総額
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %			
161期(2017年12月20日)	12,072	△0.1	254.57	△0.1	99.6	—	27,268
162期(2018年1月22日)	12,056	△0.1	254.21	△0.1	99.6	—	26,720
163期(2018年2月20日)	12,065	0.1	254.39	0.1	99.4	—	26,164
164期(2018年3月20日)	12,083	0.1	254.76	0.1	99.6	—	25,673
165期(2018年4月20日)	12,065	△0.1	254.38	△0.1	99.5	—	25,121
166期(2018年5月21日)	12,069	0.0	254.45	0.0	99.4	—	25,158
167期(2018年6月20日)	12,080	0.1	254.67	0.1	99.5	—	24,864
168期(2018年7月20日)	12,082	0.0	254.73	0.0	99.5	—	24,512
169期(2018年8月20日)	12,060	△0.2	254.25	△0.2	99.5	—	24,298
170期(2018年9月20日)	12,045	△0.1	253.93	△0.1	99.5	—	24,124
171期(2018年10月22日)	12,041	△0.0	253.84	△0.0	99.5	—	23,898
172期(2018年11月20日)	12,072	0.3	254.49	0.3	99.5	—	23,703
173期(2018年12月20日)	12,112	0.3	255.33	0.3	99.5	—	23,855
174期(2019年1月21日)	12,123	0.1	255.53	0.1	99.4	—	24,314
175期(2019年2月20日)	12,141	0.1	255.91	0.1	99.2	—	24,156
176期(2019年3月20日)	12,135	△0.0	255.79	△0.0	99.5	—	25,389
177期(2019年4月22日)	12,126	△0.1	255.58	△0.1	99.4	—	26,346
178期(2019年5月20日)	12,131	0.0	255.67	0.0	99.3	—	26,537
179期(2019年6月20日)	12,195	0.5	256.99	0.5	99.5	—	27,040
180期(2019年7月22日)	12,176	△0.2	256.60	△0.2	99.4	—	27,269
181期(2019年8月20日)	12,241	0.5	257.95	0.5	99.5	—	27,487
182期(2019年9月20日)	12,234	△0.1	257.83	△0.0	99.6	—	27,229
183期(2019年10月21日)	12,191	△0.4	256.93	△0.4	99.5	—	27,007
184期(2019年11月20日)	12,163	△0.2	256.31	△0.2	99.5	—	26,731
185期(2019年12月20日)	12,080	△0.7	254.57	△0.7	99.6	—	26,902
186期(2020年1月20日)	12,088	0.1	254.71	0.1	99.6	—	26,901
187期(2020年2月20日)	12,120	0.3	255.35	0.3	99.4	—	26,876
188期(2020年3月23日)	12,068	△0.4	254.29	△0.4	99.4	—	25,927
189期(2020年4月20日)	12,096	0.2	254.83	0.2	99.6	—	26,512
190期(2020年5月20日)	12,104	0.1	254.97	0.1	99.5	—	26,309

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 10年とは、野村證券株式会社が発表している期間10年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		(参 考 指 数) NOMURA-BPI/Ladder10年		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第185期	(期 首) 2019年11月20日	円 12,163	% —	256.31	% —	% 99.5	% —
	11月末	12,145	△0.1	255.94	△0.1	99.4	—
	(期 末) 2019年12月20日	12,080	△0.7	254.57	△0.7	99.6	—
第186期	(期 首) 2019年12月20日	12,080	—	254.57	—	99.6	—
	12月末	12,102	0.2	255.04	0.2	99.5	—
	(期 末) 2020年1月20日	12,088	0.1	254.71	0.1	99.6	—
第187期	(期 首) 2020年1月20日	12,088	—	254.71	—	99.6	—
	1月末	12,130	0.3	255.61	0.4	99.5	—
	(期 末) 2020年2月20日	12,120	0.3	255.35	0.3	99.4	—
第188期	(期 首) 2020年2月20日	12,120	—	255.35	—	99.4	—
	2月末	12,192	0.6	256.89	0.6	99.5	—
	(期 末) 2020年3月23日	12,068	△0.4	254.29	△0.4	99.4	—
第189期	(期 首) 2020年3月23日	12,068	—	254.29	—	99.4	—
	3月末	12,103	0.3	255.01	0.3	99.4	—
	(期 末) 2020年4月20日	12,096	0.2	254.83	0.2	99.6	—
第190期	(期 首) 2020年4月20日	12,096	—	254.83	—	99.6	—
	4月末	12,129	0.3	255.52	0.3	99.6	—
	(期 末) 2020年5月20日	12,104	0.1	254.97	0.1	99.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

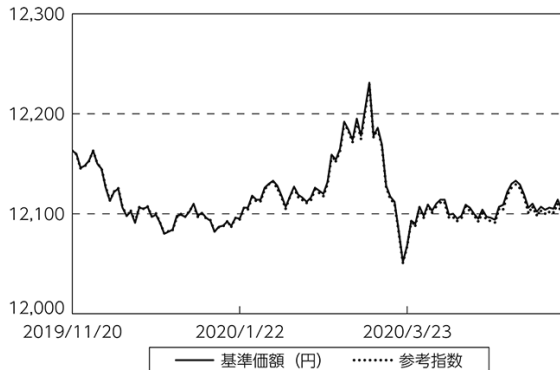
○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.5%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内債券市況

国内金利は上昇しました。

- ・国内金利は、当作成期首から2019年12月下旬にかけては、日銀による追加緩和観測の後退などから上昇基調となりました。その後、2020年3月上旬にかけて米金利の低下などを背景に国内金利も低下したものの、3月下旬にかけては新型コロナウイルス感染拡大に伴う金融市場の混乱を受けて保有資産の現金化の動きが進んだことなどから、国内金利は上昇しました。当作成期末にかけては、国内金利は横ばい圏で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

日本国債を高位に組み入れ、国債の残存期間ごとの投資額面金額がそれぞれ同額程度になるような運用(ラダー型運用)を目指しました。当作成期を通じて純資産総額に対する国債の組入比率をおおむね高位に維持し、当作成期末は99.5%となりました。ラダー型運用としては、残存10年程度までの国債に投資し、1年程度ごとで見た残存期間ごと(①残存約1年以内、②残存1~2年程度、③残存2~3年程度、・・・、⑩残存9~10年程度の全10期間)の投資額面金額がおおむね等しくなるような運用を行いました。2019年12月と2020年3月に、組入国債の一部が償還を迎えたため、その償還資金を速やかに残存10年程度の国債に再投資しました。当作成期末における残存期間ごとの投資額面金額は24.3~26.5億円(投資額面金額の総額は257億円)となりました。デュレーション*は当作成期を通じて、5年程度となりました。

*デュレーションとは「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

○今後の運用方針

- ・引き続き、日本国債を主要投資対象とします。
- ・運用に当たっては、組入比率を高位に保ちながら、残存期間ごと(最長10年程度)で見た投資額面金額が同額程度になるような運用(ラダー型運用)をめざします。

○1万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年5月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年5月20日)

公社債

		第185期～第190期	
		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 4,163,918	千円 3,133,755 (1,250,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年5月20日)

利害関係人との取引状況

区分	第185期～第190期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,163	百万円 1,382	% 33.2	百万円 3,133	百万円 737	% 23.5

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2020年5月20日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第190期末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	25,700,000	26,171,588	99.5	—	51.0	29.7	18.7	
合 計	25,700,000	26,171,588	99.5	—	51.0	29.7	18.7	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第190期末				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
	%	千円	千円		
国債証券					
第308回利付国債 (10年)	1.3	600,000	600,726	2020/6/20	
第310回利付国債 (10年)	1.0	590,000	592,312	2020/9/20	
第312回利付国債 (10年)	1.2	610,000	614,880	2020/12/20	
第313回利付国債 (10年)	1.3	630,000	637,723	2021/3/20	
第315回利付国債 (10年)	1.2	610,000	619,089	2021/6/20	
第317回利付国債 (10年)	1.1	610,000	620,400	2021/9/20	
第319回利付国債 (10年)	1.1	610,000	622,346	2021/12/20	
第321回利付国債 (10年)	1.0	610,000	623,096	2022/3/20	
第323回利付国債 (10年)	0.9	620,000	633,925	2022/6/20	
第325回利付国債 (10年)	0.8	620,000	634,167	2022/9/20	
第326回利付国債 (10年)	0.7	620,000	633,993	2022/12/20	
第328回利付国債 (10年)	0.6	630,000	643,790	2023/3/20	
第329回利付国債 (10年)	0.8	630,000	648,830	2023/6/20	
第330回利付国債 (10年)	0.8	640,000	660,595	2023/9/20	
第332回利付国債 (10年)	0.6	630,000	647,136	2023/12/20	
第333回利付国債 (10年)	0.6	640,000	658,489	2024/3/20	
第334回利付国債 (10年)	0.6	640,000	659,577	2024/6/20	
第335回利付国債 (10年)	0.5	650,000	668,135	2024/9/20	
第336回利付国債 (10年)	0.5	660,000	679,324	2024/12/20	
第338回利付国債 (10年)	0.4	640,000	656,486	2025/3/20	
第339回利付国債 (10年)	0.4	650,000	667,621	2025/6/20	
第340回利付国債 (10年)	0.4	660,000	678,783	2025/9/20	
第341回利付国債 (10年)	0.3	650,000	665,717	2025/12/20	
第342回利付国債 (10年)	0.1	680,000	688,982	2026/3/20	
第343回利付国債 (10年)	0.1	660,000	669,094	2026/6/20	
第344回利付国債 (10年)	0.1	680,000	689,764	2026/9/20	
第345回利付国債 (10年)	0.1	650,000	659,483	2026/12/20	

銘	柄	第190期末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
第346回利付国債 (10年)		0.1	650,000	659,620	2027/3/20
第347回利付国債 (10年)		0.1	670,000	680,284	2027/6/20
第348回利付国債 (10年)		0.1	660,000	670,243	2027/9/20
第349回利付国債 (10年)		0.1	660,000	670,342	2027/12/20
第350回利付国債 (10年)		0.1	650,000	659,997	2028/3/20
第351回利付国債 (10年)		0.1	660,000	669,933	2028/6/20
第352回利付国債 (10年)		0.1	660,000	669,682	2028/9/20
第353回利付国債 (10年)		0.1	670,000	679,246	2028/12/20
第354回利付国債 (10年)		0.1	660,000	668,481	2029/3/20
第355回利付国債 (10年)		0.1	660,000	668,118	2029/6/20
第356回利付国債 (10年)		0.1	660,000	667,715	2029/9/20
第357回利付国債 (10年)		0.1	660,000	666,963	2029/12/20
第358回利付国債 (10年)		0.1	660,000	666,487	2030/3/20
合	計		25,700,000	26,171,588	

○投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	第190期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	26,171,588	99.4
コール・ローン等、その他	148,633	0.6
投資信託財産総額	26,320,221	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末
	2019年12月20日現在	2020年1月20日現在	2020年2月20日現在	2020年3月23日現在	2020年4月20日現在	2020年5月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	27,592,471,531	26,946,217,008	26,910,593,351	26,600,730,799	26,552,595,476	26,320,221,706
コール・ローン等	790,017,266	128,190,610	165,991,176	804,923,492	115,454,340	111,762,467
公社債(評価額)	26,785,101,100	26,789,020,100	26,704,411,400	25,778,602,500	26,409,985,500	26,171,588,100
未収利息	17,198,923	28,666,032	39,649,418	17,136,811	26,473,409	36,188,912
前払費用	154,242	340,266	541,357	67,996	682,227	682,227
(B) 負債	689,882,083	44,814,290	33,848,802	673,424,265	39,713,957	10,478,986
未払金	646,035,200	—	—	663,175,400	—	—
未払解約金	43,845,477	44,814,062	33,848,507	10,247,432	39,713,752	10,478,787
未払利息	1,406	228	295	1,433	205	199
(C) 純資産総額(A-B)	26,902,589,448	26,901,402,718	26,876,744,549	25,927,306,534	26,512,881,519	26,309,742,720
元本	22,269,480,231	22,254,880,602	22,176,146,484	21,485,179,181	21,918,836,127	21,736,786,458
次期繰越損益金	4,633,109,217	4,646,522,116	4,700,598,065	4,442,127,353	4,594,045,392	4,572,956,262
(D) 受益権総口数	22,269,480,231口	22,254,880,602口	22,176,146,484口	21,485,179,181口	21,918,836,127口	21,736,786,458口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,080円	12,088円	12,120円	12,068円	12,096円	12,104円

○損益の状況

項 目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	11,756,275	11,661,186	11,617,412	11,780,596	9,509,547	10,241,615
受取利息	11,765,085	11,672,531	11,627,214	11,792,412	9,518,676	10,248,374
支払利息	△ 8,810	△ 11,345	△ 9,802	△ 11,816	△ 9,129	△ 6,759
(B) 有価証券売買損益	△ 195,444,200	4,529,400	59,068,300	△ 120,360,100	50,890,100	6,893,400
売買益	—	10,929,100	64,175,700	1,815,700	66,146,000	11,566,400
売買損	△ 195,444,200	△ 6,399,700	△ 5,107,400	△ 122,175,800	△ 15,255,900	△ 4,673,000
(C) 当期損益金(A+B)	△ 183,687,925	16,190,586	70,685,712	△ 108,579,504	60,399,647	17,135,015
(D) 前期繰越損益金	4,754,415,586	4,633,109,217	4,646,522,116	4,700,598,065	4,442,127,353	4,594,045,392
(E) 追加信託差損益金	114,611,326	33,129,514	67,848,095	32,789,753	153,318,551	12,089,664
(F) 解約差損益金	△ 52,229,770	△ 35,907,201	△ 84,457,858	△ 182,680,961	△ 61,800,159	△ 50,313,809
(G) 計(C+D+E+F)	4,633,109,217	4,646,522,116	4,700,598,065	4,442,127,353	4,594,045,392	4,572,956,262
次期繰越損益金(G)	4,633,109,217	4,646,522,116	4,700,598,065	4,442,127,353	4,594,045,392	4,572,956,262

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 21,976,945,717円
 作成期中追加設定元本額 1,956,758,960円
 作成期中一部解約元本額 2,196,918,219円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1,2104円です。
- ②作成期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 ジャパン・ソブリン・オープン 15,733,254,723円
 ジャパン・ソブリン・オープン(資産成長型) 6,003,531,735円
 合計 21,736,786,458円